

令和6年2月5日

生駒市長 小紫 雅史 様

生駒市総合計画審議会
会 長 久 隆 浩

第6次生駒市総合計画第2期基本計画の策定について(答申)(案)

令和5年3月30日付け生企第124号で諮問のあった第6次生駒市総合計画第2期基本計画の策定について、慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

本審議会においては、第6次生駒市総合計画基本構想に基づき、市長任期と連動した今後の4年間の行政運営のプランとなる第2期基本計画(案)を検討しました。少子高齢化の進行、デジタル化の進展など、急速に変化し、複雑多様化する社会課題に対して、柔軟で、かつ施策間の連携を意識した計画となるよう審議を行ってきました。

今後、計画の推進にあたっては特に下記の事項に留意され、将来都市像に掲げる「自分らしく輝けるステージ・生駒」の実現が図られるよう要望します。

記

- 1 第6次総合計画第2期基本計画に基づくまちづくりを実現するため、本計画の趣旨と内容を様々な機会を通じて広く周知し、市民との情報の共有を図るよう努められたい。
- 2 各施策に掲げる「令和9年度末にめざす状態」の実現に向けて、庁内関係課のみならず、関連する市民・事業者等と共有し、連携を図りながら事業を推進されたい。
- 3 戦略的施策を確実に進めていくため、全庁的な仕組みを確立されたい。
- 4 限られた資源の中で政策の有効性を高めるため、「証拠に基づく政策づくり」を徹底できる仕組みを確立されたい。
- 5 PDCAサイクルによる計画の進行管理を行い、社会環境や経済情勢の変化等に柔軟に対応しながら、必要な場合には本計画を修正することも図られたい。
- 6 生駒市行政改革大綱と一体的な運用を行っていくことに伴い、総合計画と行政改革大綱との整合性を図ることができる進行管理の手法を確立されたい。